

くれなずめ



忘れてやる
思い出にするくらいなら

成田 凌 若葉 竜也 浜野 謙太 藤原 季節 目次 立樹 / 高良 健吾

監督・脚本：松居大悟 主題歌：ウルフルズ「ソウはネズミ色」(Getting Better / Victor Entertainment) 配給・宣伝：東京テアトル 制作プロダクション：UNITED PRODUCTIONS

特別協力：エレファントハウス 製作：「くれなずめ」製作委員会 (UNITED PRODUCTIONS、ハビネット、東京テアトル、Fly Free Entertainment、カラーバード) ©2020「くれなずめ」製作委員会

kurenazume.com



@kurenazume

G

ある日突然、友人が死んだ。



僕らはそれを認めなかった。



泣きたいのに笑えて、笑いたいのに泣ける。“狭間”の時間に起こる奇跡—

優柔不断だが心優しい吉尾(成田凌)、劇団を主宰する欽一(高良健吾)と役者の明石(若葉竜也)、既婚者となったソース(浜野謙太)、会社員で後輩気質の大成(藤原季節)、唯一地元に残ってネジ工場で働くネジ(目次立樹)、高校時代の帰宅部仲間がアラサーを迎えた今、久しぶりに友人の結婚式で再会した! 満を辞して用意した余興はかつて文化祭で披露した赤ファンダンス。赤いワンドシー丁で踊る。恥ずかしい。でも新郎新婦のために一世一代のダンスを踊ってみせよう!!

そして迎えた披露宴...終わった...ただスベりで終わった。こんな気持ちのまま、二次会までは3時間。長い、長すぎる。そして誰からともなく、学生時代に思いをはせる。でも思い出すのは、しょーもないことばかり。「それにしても吉尾、お前ほんとに変わってねーよな なんてそんなに変わらねーんだ? まいっか、どうでも。」そう、僕らは認めなかった、ある日突然、友人が死んだことを。



この物語は、結婚式の披露宴と二次会の間に起こる短いお話。

6人の“今”と、思い出が蘇る“過去”が交錯して笑いと寂しさがごちゃ混ぜになり、やがて、目を背けていた“友の死”がそれぞれの人生に立ちはだかる。記憶にしがみつくと、6人の男たちの瘦せ我慢と一緒に、すべての出来事を見届けてください。

くれなずめ

日が暮れそうでなかなか暮れない状態を表す「暮れなすむ」を変化させ、命令形にした造語。形容できない時間、なんとも言えない愛しい瞬間に名前をつけました。

成田凌 若葉竜也 浜野謙太 藤原季節 目次立樹 / 飯豊まりえ 内田理央 小林喜日 都築拓紀(西千頭身) / 城田優 前田敦子 / 滝藤賢一 近藤芳正 岩松了 / 高良健吾
監督・脚本: 松居大悟 主題歌: ウルフルズ「ソウはネズミ色」(Getting Better / Victor Entertainment) 製作: 森田篤 佐々木卓也 太田和宏 村上正樹 宮前泰志 プロデューサー: 和田大輔 協力プロデューサー: 永田芳弘
アシスタントプロデューサー: 横山一博 狩野修吾 撮影: 高木風太 照明: 秋山恵二郎 録音: 竹内久史 編集: 瀧田隆一 装飾: 酒井拓磨 森公美 スタylist: 望月恵 ヘアメイク: 寺沢ルミ
持道具・小道具: 谷中太楼 振付: ハビヤ鈴木 音楽: 森優太 VFXスーパーバイザー: オダイッセイ カラリスト: 高橋直孝 音響効果: 松浦大樹 キャスティング: 門田治子 宣伝プロデューサー: 簡井史子 (FINOR)
助監督: 山田一洋 製作担当: 白石治 製作幹事・制作プロダクション: UNITED PRODUCTIONS 幹事協力: ハビネット 配給・宣伝: 東京テアトル 特別協力: エレファントハウス
製作: 「くれなずめ」製作委員会 (UNITED PRODUCTIONS、ハビネット、東京テアトル、Fly Free Entertainment、カラーバード) 2020年/カラー/シネマスコープ/5.1ch/96分 ©2020「くれなずめ」製作委員会

kurenazume.com @kurenazume

4月29日(祝) 全国公開

前売鑑賞券(ムビチケカード)発売中!

オリジナルクリアファイル付き ¥1,400(税込)
※一部劇場を除く。数量限定。※詳細は作品公式ホームページをご覧ください。

